

令和5年度鶴岡市立図書館協議会 会議概要

○日時 令和5年12月20日(水)午前10時～11時55分

○会場 図書館本館 講座室

○出席委員 粕谷 温子委員 和田 俊江委員 井上 裕子委員
池田 達枝委員 宮島 昭子委員 五十嵐 武委員
三浦 洋介委員 本間 積委員 安藤 幸子委員
鈴木 邦委員 小野寺せつ委員 鈴木 和子委員

○欠席委員 草島 陽子委員

○市側出席職員 図書館長 五十嵐恭子、社会教育課長 沼沢紀恵
主査 松田亜紀子、主査 齋藤 剛志

○公開・非公開の別 公開

○傍聴の人数 1名

○会議内容

1.開会

2.あいさつ

3.図書館協議会委員並びに事務局紹介

4.正副委員長の選出

5.報告・協議

(1) 令和4年度図書館事業報告(要覧P8～19)

(2) 令和5年度図書館重点施策と主要事業について(要覧P20～24)

(3) つるおか若者意識調査 2023 高校生・高専生・中学生アンケート
および図書館新館構想について

(4) その他

【質疑・意見】

委員長) 質疑・意見を、鶴岡市立図書館要覧、アンケート、図書館新館構想に分けて行いたい。

委員) 分館にも、蔵書の増加等様々な問題があるが、本館と分館の連携の体制はどうなっているのか。

事務局) 分館にはメインに司書1名、その他補助1名(週1回から3回分館勤務)の職員がいる。この補助の1名は、分館勤務以外の日は、本館に勤務しており、相互の理解に寄与している。

委員) 各分館の課題解決について、本館で会議等する機会はあるのか。

事務局) 年1回分館司書を集めて会議を行い、本館と分館また、分館間の情報共有・情報交換している。また、司書も今年度は1週間程度、本館勤務を経験してもらい、情報を共有した。

委員) 移動図書館(やまびこ号)は、学校数が減っているにも関わらず、利用者

が減っていない。どのような訳か。

事務局) 現在小学校より希望を取って10校、全部で54か所(要覧24ページに記載)のサービスポイントで貸出し等を行っている。高齢者施設もあり、これらの利用者によるものと思われる。

事務局) 令和5年度は4年度より山戸保育園、ポッポの湯が減っている。(ポッポの湯はお風呂メインで借りる方が少ない。)

その分、例えば加茂は、街中の方がいいという住民の声を反映しての場所であるし、藤島児童館(ふれあいセンター)は、通りすがりの方に、やまびこたより等を配り、宣伝し、その結果として利用者が増えている。

人口・学校が減っているなか、地道な宣伝活動を行い、少しでも多くの人にやまびこ号の存在を知ってもらいたいと思う。

委員) 学童保育所に、やまびこ号に来てもらったら、かわいいバスで、迷惑ではと思うほど、大賑わいだった。恒例にしたい。

事務局) 夏休みで、学校に行く予定がなくなったため、その時間に2回、学童保育を訪問した。暑い中、やまびこ号にぎゅうぎゅう詰めになるほど乗って利用してもらった。イベントにあわせ夜に訪問している施設もあるので、皆さんからもお気軽に声を掛けていただければと思う。

委員) やまびこ号に土田先生が描いてくれたリードンとヨンデールが描いてあるのは一目で移動図書館だとわかるので強みだと思う。新1年生に配られる利用者カードにも描かれており、もっとリードンとヨンデールを活用すべきだと思う。

委員) 分館での催し物は、温海分館はコロナ対策で、5回から2回に減っている。今年も2回だが人数制限をしなかったため、多くの家族連れに来ていただいた。日曜日の家族の団欒に、おはなし会を選んで来ていただきたいのがうれしく、私共も次は何をしようかと考えている。子供たちも、紙芝居の時など声が出せるようになった。子供たちがお話を好きになるきっかけに携われ、細く長くやってきて良かったなと思う。

また、おはなし会の時、貸出や利用カードの登録も進めており、この点が貸出し冊数の増加に貢献していると思う。いろんな面で役に立っているおはなし会を、回数を増やして頂ければありがたいと思う。

事務局) 関係する会議等で検討したい。

委員) 高齢者施設での貸出しはどうか。

事務局) 施設の職員が代表して借りていくことが多い。

委員) 高齢者も、大きめの紙芝居等、喜ぶと思うので、小さい子供だけでなく、高齢者にも目を向けて頂きたい。

委員長) 今の件、市の図書館構想にも大きいヒントなのではないか。小さい子供だけではなくお年寄りとか、そういう観点も大事だと思う。

委員) アンケートについて、高校生・中学生も環境が整えば、利用してもらえることが分かる。鶴岡市には気軽に寄り道できるところがなくなっている。図書館には、ぜひ寄り道できる所になってほしい。保護者も図書館なら安心である。

委員) 移動図書館(やまびこ号)は皆様方にたいへん評価して頂いているが、平成21年に宝くじからの補助金を利用して更新した。本当に移動図書館(購入から15年目)が重要と考えるなら、そろそろ更新を考えるのではなく、毎年でも予算要求をし、更新すべきである。

委員) 新館構想について、課題に目が行きやすいが、鶴岡市の図書館の良さ、成果を前面に出して取り組むべきと思う。

合併後に広域で移動図書館をやってみたら意外とニーズがある等、社会教育的視点から見れば、市街地だけでなく、地域庁舎のコミュニティーにも機能する図書館である点、色々な催し物や郷土資料館もあり、0歳児から高齢者まで幅広く利用できる点など、事業の良さや成果も挙げながら、そこを大事にして進めてほしい。

また、リードンとヨーデルが描かれているやまびこ号をモチーフにした館内展示があれば、やまびこ号に入ったことのない子供たちも、わくわくすると思うし、感性を育む事につながると思う。

委員長) 学校との連携についても大切にしたいと思うがどうか。

委員) 今の学校は働き方改革や子供たちが熱中症で危険なため、夏休み前にプールが終る。同じ理由で、夏休みに、本の貸出を行わない学校も増えている。

児童の自転車利用は学区内のみなので、第3学区以外の生徒はなかなかこの図書館を利用できない状況にあると思われる。

このため、夏休み中の学童保育所へ、移動図書館が訪問してもらえるのはとてもありがたいと思う。しかし、多くの学童保育所は、このことを知らないため、図書館には、この点の周知をお願いしたい。

委員) 今年度は新図書館構想について説明があり、やっと一歩ふみだせた感がある。新図書館の立ち上げを、この会の委員だけで無く、市民の皆さんを巻き込んで、前に進めていけたら、大変すばらしいことだと思う。

委員長) こういう、何十年に1回の会に携われることは幸いなことだし、ありがたいと思う。ボランティアの立場でどうか。

委員) 施設での朗読は、コロナの間はできなかったが、5類に移行したので、施設側とも相談していきたい。

委員) 中高生へのアンケートを見ると、図書館の存在自体わかっていない方が少なからず居ることにびっくりした。

逆に、その方々に利用者になって頂ければ、利用者がもっと増える可能性もある。本年度実施したナイトツアーが好評で、2回のところ3回になったというが、今後も図書館のファンになって頂くような努力をしてほしい。

委員) 最近新しくできた図書館は駅前とか複合施設の中であって、子供を連れて行っても、子供を図書館に置いたまま、おじいちゃん、おばあちゃん同志が話をする場もあり、いいなと思った。

駐車場も充実して、駅前だと、食事をするところもあり、図書館目線でみると、おかしいという人もいるが、複合施設の中の図書館は、いい機能を果たしている

と思った。空調も良く、開館時間も長く、朝早くから遅くまでやっているのので、高校生待ち合わせや、駅の待ち時間、試験が早くおわって、空いた時間を過ごすのに利用している。そんなのもいいなと思う。

委員) 土田義晴先生の原画展を、分館で開催してもらいたい。分館をおぼえてもらえるし、人も集められるし、もっと関心を持ってもらえると思う。また、本物に触れるということが、とても大切なこと。分館の地域の子供たちにも触れるチャンスを与えてほしい。

事務局) 以前、本館での展示が終了後、先生にお願いして、各分館で展示したことがある。最近では先生の原画展が鶴岡市以外でも行われているので、長期間原画を借りることが出来るか、どのような方法があるか検討したい。

委員長) 今までの話を聞いて社会教育の立場からご意見をお願いしたい。

社会教育課長) 社会教育の立場からということで、図書館本館だけでなく、各分館も含めて、関わっている皆様方の発言をお聞きし、また、アンケートの結果から図書館を高校生・中学生がどう思っているのかなど、現状が良く分かった。社会教育として、学校だけでなく、大人も子供も、いろんな方たちがいろんな所で、図書で繋がり関わっていると思った。これからも図書館、とりわけ本をキーワードとした繋がりを広げていけたらと思う。

委員長) 新図書館構想について、自分なりのキーワードの一つとして、ネットワークが大事だと思う。本館と分館、移動図書館との連携、また、市内の学校や県立図書館とのネットワークも大事にしてほしい。

6. その他

(事務局より)

令和5年度第43回山形県図書館大会について

7. 閉 会